



令和8年1月7日
我孫子市立我孫子第一小学校

1月



1月24日～30日は
「全国学校給食週間」です。



学校給食週間とは、学校給食の意味や役割について、児童の皆さんや保護者、先生、地域の人の理解と関心を深めるための1週間です。

学校給食は、明治22年（1889年）山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）の私立忠愛小学校で、僧侶たちが貧しくてお弁当を持ってこられない子どもたちのために、おにぎり・塩鮭・たくあんを与えたのが始まりです。

その後、学校給食は全国に広まりましたが、昭和19年（1944年）には、第二次世界大戦の激化により中断しました。

戦後の食糧難から子どもたちを救おうと、ラウ委員会（アジア救済連盟）からの物資援助を受けて、「東京」「神奈川」「千葉」で学校給食が昭和21年12月24日に再開されました。物資をいただいたことに感謝の気持ちを込めて12月24日を学校給食感謝の日と定め、その後、給食の意義や役割についての理解や関心を深める週間として、冬休みと重ならない1月24日から30日が「全国学校給食週間」になりました。

給食週間中のメニュー紹介

1月26日（月） **山形県の献立**

おにぎりと焼き魚、漬け物だけの昼食が学校給食の始まりといわれています。おみつけは野菜を刻んで漬け込んだ山形を代表する郷土料理です。

1月27日（火） **イタリアの献立**

冬季オリンピックが開催されるイタリア。ピザやパスタが有名ですが、給食ではラザニア、イタリアンスープを作ります。

1月28日（水） **我孫子市の献立**

我孫子市で生まれた「白樺派のカレー」は、みそを使うこと、地元の野菜を使うこと、決まったカレー粉を使うことなどを条件に作られます。

1月29日（木） **奈良県の献立**

女性初の総理大臣、高市首相の地元です。飛鳥汁は、鶏肉と野菜の味噌汁に牛乳を火くわえることで生まれる、まろやかでコクのある味わいが特徴です。一小では、牛乳を豆乳にかえてつくりま

1月30日（金） **千葉県の献立**

海の幸・里の幸が多くとれる恵まれた土地、千葉県の食材をたくさん使って作ります。

【学校給食の移り変わり】

